

「八嘉物語 花づくり編」の講話の感想 (一部抜粋)

先輩方のお話は、子供たちの心に強く響き、「生き方」についても考えることができました。

これからも地域の皆さんのご協力をいただきながら、「八嘉の心」を学んでいきたいです。

私も、ゴミが花壇の中に入っていたら、取って捨てたいと思うし、草が生えていたら少しでもとって、花づくりに貢献したいと思っています。

心に残ったことの 하나가、廣田さんの「いろんな行動を楽しむ」という言葉です。私は、この言葉に感動しました。心に刻んでおきたいです。

九十四歳まで花づくりをした鹿井さんの花への愛が伝わってきました。ぼくも、花を自分の家の庭に植えようと思いました。

私も、高永さんみたいに、人に優しく、そして人生を楽しみたいなど思いました。八嘉の歴史を知ることができてよかったです。

私は、これからいいなど思ったことは続けようと思うし、何をすることも楽しんで、人の痛みが分かる人になりたいと思います。

私は、三十年前に、高永さんの奥さんが、足が不自由なのに仔馬の前で花のお世話をされていたことが心に残りました。また、朝早くからゴミ拾いをしていて、とても大変だったんだろうなと思いました。そして、花を植えているところにはゴミがないという話を聞いたときは、すごいなと思いました。それから、花のフェスティバルなどに行つて勉強をしていることもびっくりしました。また、私が一番驚いたことは、自分たちの心が花を元気づけたりすることです。なので、花にもたくさん話しかけたりしたいなと思いました。

花が植えてあるところはゴミがなかったと聞いて、花はすごいと思いました。前までは草をあまり取っていなかったから、これからは、いっぱい取って、みんなを笑顔にしたいです。

私が知らないことばかりなので、この機会にたくさん知ることができてよかったです。花に愛情を注ぐと長持ちし、花にもストレスがあると聞いて、驚きました。私は、花壇の中にゴミを見つけたら、拾って家に持って帰って捨てようと思いました。それと、学校で育てている花にみんなで愛情を注ぎ、長持ちさせようと思いました。

今日の話を聞いて、国土交通省と協力して八嘉が花いっぱい地域になっていくことにびっくりしました。わけは、そんな大きな機関が八嘉に関わっているなんて、今まで知らなかったからです。また、花づくり委員会の皆さんたちが一体となつてきれいな花壇を保ち続けておられることを知り、もっと学校の花壇の草取りや花のお世話を頑張ろうと思いました。今日は、知らなかったことが知れて、八嘉の魅力がより分かったのよかったです。

廣田さんのお話では、八嘉を元気にするために色々なことをしたというお話が心に残りました。なぜなら、「八嘉」という一つの地区のために盆踊りやリーダーシップなど、「人と人とのふれあい」を大切にしていらつしやうだからです。(中略)
私は、朝、草取りをしています。これをつけていくためには、「楽しむ」「継続していく」と、皆さんがおっしゃったように、楽しんで、継続していこうと思います。

ぼくは、今村さんの話を聞いて、花づくり委員会のでき方や始まったころの様子を知ることができました。また、花づくりは三十年も前からつながってきたと分かりました。

廣田さんの話では、花のフェスティバルに行つて、花づくりの勉強などをしていて聞いて、びっくりしました。また、高永さんから「後は頼む」と言われて、今こうなっていること、生命保険の一部から花づくりに出してくれたいことが分かりました。

西住さんの話では、花と人との関わりなど、大切な言葉が学べました。三人からの期待に応えて、これから生活していきたいと思っています。